



山梨県スポーツ指導者協議会

会報

第二十三号

平成25年
3月
発刊

あいさつ

指導者協議会

活性化に向けて思うこと

会長 若尾重廣

(柔道コーチ・空手道上級コーチ・
ジュニアスポーツ指導員・アシ
スタントマネジャー)



山梨県スポーツ指導者協議会(以下県ス指協という)は、創立以来二十三年、歴代会長を中心に「スポーツの意識を高揚し、指導者としての資質の向上と相互の連携を図り、県民スポーツの普及、発展に寄与する。」という目的を果たす

べく頑張ってきたことは事実である。

平成二十四年度の日体協公認スポーツ指導者登録状況を見ると、本県は一、六六三人の資格取得者があり、その内、四二〇人余りが積極的に年会費を納入し、年間数度開催される講習会・研修会等に積極的に参加して、資質の向上に努めて戴いている。

指導者にとって嬉しいことは、平成二十三年六月に「スポーツ振興法」を五十年振りに全面改正する「スポーツ基本法」が成立、施行され、二十四年二月「スポーツ基本計画」が策定され、「スポーツは文化である。」ことが強調されたことである。これにより、スポーツの品位が上がり、スポーツ指導者のステータスも向上することを期待できた。今年度開催した指導者研修会は、三会場とも盛況で、意を強くすることができたところであった。

最近、新聞やテレビ等で指導者(監督)の体罰(暴力)、パワハラ等が報道されている。これは、あつ

てはならないこと。指導者も選手も目的は同方向。「教えることは、学ぶこと。」選手の伸びようと努力を支え、後押ししながら「苦あれば楽あり」を共有したいものである。

指導者に求められているもの、それは「資質の向上」である。研修会、講習会、情報交換会に積極的に参加することこそが、県ス指協のより活性化に繋がると信ずる。指導者各位の奮起を期待します。



「公認スポーツ指導者

全国研修会」に参加して



笛吹支部 副支部長

小澤 照造

(ソフトボール上級指導員)

平成二十四年十二月十五日(土)、東京都港区高輪／TKPガーデンシティ品川にて標記研修会が開催され、五百余名が出席した。開会式後に表彰式を行ない、受賞者二百二十三名がそれぞれの貢献に対し表彰された。

引き続き荒木田裕子講師による「スポーツの力・オリンピックの魅力」について特別講演が行われた。バレーボールを中・高・実業団と続け、全日本、メキシコ・モントリオールのオリンピック、ワールドカップ等々選手として活躍し、実践を踏えた経験者として、東京二〇二〇年オリンピック

ク・パラリンピック招致、OCA等の委員長、理事など四部門の役職を担当し、種々の強化に力を注いでいる現状で、内容力と説得のある講演であった。

次に柏井正樹講師のテニス界において、上級コーチ、教師としての立場で指導・実践・指摘と経験を重ねた意義のある講演と認識した。

また、シンポジウム・シンポジスト四名の方々の、地域社会でのスポーツ、オリンピック参加、その裏に見えるそれぞれの異なる見方、立場、そして実例を交じた討論・座談会で非常に得たものがあつた。

外部指導者の現状



活動促進部

畑 警 吾

(クラブマネジャー)

平成十四年体育部活動における顧問の負担軽減と、専門知識、専門的指導の実技実践の為、外部指導者導入が実施された。

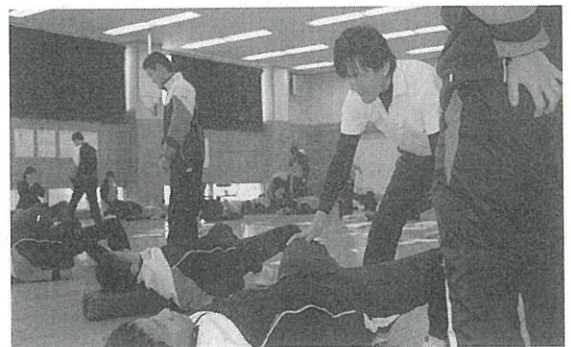
当初中学高校合わせて六十名が委嘱され、地域スポーツ指導者派遣という形であつた。その後四十



名の委嘱に減つたが平成十六年より運動部外部指導者と言う名前で派遣されるようになり、今日に至っている。

私も第一回の委嘱を頂いた一人で、玉穂中学校剣道部の外部指導者を十年勤めさせて頂いている。当時から気を配ったことは、学校の中に一般のスポーツ指導者が入って、体育教育の部分指導を行なうので、顧問の先生とかなり綿密な話し合いが出来ていないと上手く行かない。校長の教育方針、顧問の先生の教育理念を常に念頭に於いて協力する姿勢でないと生徒が迷いを生じて

しまふ。



現状では日常の活動や大会に於いてそれぞれ実績が上がっている。特に、剣道で平成二十四年度より中体連の大会に於いても、監督席に外部指導者が入れるようになった事は特筆すべきことであろう。

しかし、現状は指導者の数が絶対的に不足している。教師の高齢化や多様化などを考慮するとシステム改革を考える時期に来ていると思われる。

総合型地域スポーツクラブの 現状と理想（あるべき姿）



東山梨支部長

中村 実

(クラブマネジャー)

総合型クラブは、会費・月謝等の受益者負担による自主財源で、運営する事が、基本であり理想である。しかし、山梨県内のクラブは、補助・助成金を当てにし、少数の有志よるボランティア

アで、細々と運営しているのが現状である。そこで、理想である自主

運営をするには、何が必要かを国内の先駆的クラブと経営資源（人・物・金、近年は、情報・時間・文化・伝統を含む）を参考に三つのキーワードを挙げ考える。

一つ目は多様性である事。

多世代（子供から大人高齢者）・多様目（あらゆる活動）・多様な技術（初心者から選手）である。

二つ目は、横を繋げる事。地域のあらゆる物を繋げ組織を作る、人（体育・レク指導員、推進員等）施



設（学校、公共、商業店舗）教育（学校、社会）スポーツ（生涯、競技）医療福祉、障害者も繋げる。

三つ目は、これまで行政がして来た事を住民が行う（協働）必要性がある事。

合併により行政の手が届かない所を補填し、自分達の地域を自分達で守り創る。

以上から、クラブの運営は、スポーツだけに拘らず、地域の全てが1つになり、情報発信拠点になる環境・組織を整えみんなで楽しみ創りあげる事が重要で

ある。

また、対象区域は、人口や通うのに容易である区域（中学校区）に1つが適当である、2つ目3つ目のクラブを創設する際は、この点も考慮すべきである。そこで公認指導者の方々

は、スポーツの指導は勿論ですが、地域の一員として、クラブの運営に参画し自らも楽しむ事が大切である。必要なのは、一人の千歩で無く、千人の一步です。さあ、みんなが貴方のクラブを創りましょう。



研修会の報告

「第一回スポーツ指導者研修会に参加して」

峡中支部

河崎 純子

(スポーツプログラマー)



平成二十四年度第一回山梨県スポーツ指導者研修会に参加した。「スポーツ基本法について」の講演と、「トレーニングの科学」動作の質の科学」の実技の二本立てであった。

前半は山梨県教育委員会スポーツ健康課課長補佐 荻野昭彦先生の講演で、スポーツの目的や基本理念、国の基本計画など、少し難しい内容であったが、活動中の安全対策やスポーツ活動を通しての人間教育や社

会貢献に対し、もう一度指導者としての原点を確認できた内容であった。

後半はヴァンフォーレ山梨スポーツクラブフィジカルコーチ 谷真一郎先生の実技指導で、数種類のトレーニングメニューを実際に体験した。なかなかハードな内容もあったが、細かい理論の説明もありとても分かりやすかった。

現在、私は高齢者の介護予防運動を主に現場で運動指導をしているが、今回の研修会を通して、指導者



は常に新しい情報を参加者に発信し、運動に対する意識の改革と健康維持のモチベーションを上げるために、より一層の努力の必要性を感じた。

「第二回スポーツ指導者研修会に参加して」

峡中支部 理事

金丸 十七春

(柔道コーチ)



平成二十四年度第二回山梨県スポーツ指導者研修会は、平成二十四年十一月十八日(日) 韮崎市民交流センターで開催した。

今回は峡北地区・峡中支部役員のご協力で、七十名と大勢の参加があった。

テーマIでは、山梨学院大学水泳部監督の神田忠彦先生からトレーニングの科学「スポーツ指導者の指導

法」についての講義をいただいた。

神田先生が指導してきたオリンピック出場選手は、萩原智子、長田友喜子、加藤ゆか、加藤和、鈴木聡美がおり、山梨学院大学水泳部のシステムとしては、オリンピック選手育成のために、透明性と一慣性を重視しているとの話であった。

スポーツ指導者としての理念としては、まず自分が楽しみ好きになること。選手

手の特性をつかみ、個々に応じた指導をすること。平等を保つこと。指導システムを構築し、運営すること。文化として認識することなど、スポーツ指導者の指導法としては高度な内容で大変勉強になった。

テーマIIは、実技「ラジオ体操から学ぶ準備体操」について、山梨県女子体育連盟会長の岡部和子先生の実技を学んだ。

日本のラジオ体操は、アメリカの生命保険会社によ

り健康増進・衛生思想を図る目的で考案され、広告放送されていた世界初のラジオ体操が基となつているとのことであった。

ラジオ体操第一は、老若男女問わず出来るように、ラジオ体操第二は、第一より運動量を増やし、体力・筋力を強化するように、みんなの体操は、すべての方が気軽に出来る体操で、座った姿勢でも行えるよう考案されている。

ラジオ体操は、朝行うと覚醒の効果があり、姿勢変換能力、筋肉の霜降りを防ぐ効果、筋肉や関節、骨に影響を与える柔軟性の向上、血液増進、骨密度低下の予防など多くの効果があるという話もいただいた。

今回は正しいラジオ体操を指導していただき改めて勉強になった。全身への効果があるので、指導者として積極的に推進していきたいと考えている。

「第三回スポーツ指導者 研修会に参加して」

甲府支部 事務局長

山田 泰男

(バレーボール上級コーチ)



平成二十四年度第三回山梨県スポーツ指導者研修会は、十二月二日(日)午後一時から小瀬スポーツ公園武道場(第二武道場)で開催した。

今回は、峡南、峡北支部続いて三回目となる研修会で、笛吹、東山梨の両支部の協力の下に甲府支部が主管し、参加者は七十一名であった。

研修会は、始めに大塚製薬からの情報提供後、講演第一部は、小山勝弘先生(山梨大学教授)から「体幹トレーニングの基本」と題し

て、準備運動時の動きと筋肉の連動等について詳しく説明を受けた。

十分間の休憩後、第二部は、「体幹トレーニング」と題して、先生の実演に合わせて参加者全員が実技を行う中で、自身の体幹について理解を深めた。

その後、研究協議として、「山梨県の総合型地域スポーツクラブの現状」について、「伊勢スポーツクラブ」「わいわいスポーツクラブ」「甲州スポーツ倶楽部」の順に設立の経緯と活動の現状、今後の課題等についてそれぞれの代表者から説明があり、本県における同クラブの活動状況と今後の課題等について、相互に認識を深められた。

今回の研修会で得た成果を、今後の活動の現場に生かして行きたいと考えている。

ロンドンオリンピック

出場選手から学ぶ



副会長・南都留支部長

勝俣 進

(サッカー上級コーチ)

南都留支部では、平成二十五年二月二日、地域の体育協会などと連携し、ロンドンオリンピックに出場したレスリングの米満達

弘選手、陸上女子の佐野夢加選手、カヌーの渡辺大規選手、また陸上女子のコー

チである麻場一徳先生を招き、パネルディスカッションを開催した。

その中では「選手のやる気を伸ばし、自主性を尊重した練習環境をつくるのが指導者の役割」、「選手との信頼関係が何よりも大切」

といった話を多く聞くことができた。

また、オリンピックは規模や環境、日の丸を背負った責任感など、世界選手権などは比較にならないくらいプレッシャーがあり、メンタル面での自己管理に苦労したとの話を聞いた。

いずれにせよ、教育とは、ラテン語で「引き出す」という意味であり、指導者は選手との信頼関係の元、その能力を引き出すことが重要であり、選手の自主性を尊重し、選手自身が考えて行動できる環境づくりが重要だと、改めて感じた。



公認スポーツ指導者表彰を受賞して

公認スポーツ指導者
表彰を受賞して

甲府支部長

渡辺 徳之

(スポーツプログラマー・
ソフトテニス指導員)



この度は、指導者協議会の皆様方のご支援により、榮譽ある表彰を頂き心より感謝申し上げます。
学生時代からスポーツを



始め、アウトドア活動等は、自身の健康管理と共に人生の生き甲斐として現在も続けています。

特に、ソフトテニス競技では、先輩等の指導の下に、夏休み早朝中学生講習会を始め社会人初心者教室等の指導を通じて、人に教える・指導する事の難しさ・奥深さを痛感し、文部大臣認定の「社会体育指導者の知識・技能審査事業」によるスポーツプログラマーを取得し、その後の指導活動に生かすよう努めています。

スポーツ指導者として、その種目の技能指導と共に最も重要にも思われる点は、まずスポーツ好きな子供を育成する事が必要と思われます。
子供の球技の場合、技能中心から入らず、体を動かす事、ボールを追いかける動きが楽しく体感出来るよ



うな指導が出来れば、技能は自ずから備わって行くものと思われますが、指導の実践に当っては、個々の体型、感性の異なる子供達にどう対応すべきか、自身の指導力不足が感じられ、先輩指導者等の手法を見習っている処であります。

今後は、子供達の心身を育み「好きこそ物の上手なり」の手法が実践指導で生かせる指導者と成れるよう、自己研鑽に一層励んで行きたいと思ひます。
受賞に際し、関係各位のご尽力に深く感謝申し上げます。

公認スポーツ指導者
表彰を受賞して

峡南支部 理事

小林 裕己

(山岳上級指導員)



平成二十四年十二月十五日、TKPガーデンシティ品川において、公認スポーツ指導者表彰をしていただき、関係者の皆様には感謝申し上げます。
今思えば二十五歳の頃仲間と山に行くようになり、翌年の昭和五十三年にその仲間と山岳会を設立しました。

また、その翌年には山梨山岳連盟に加盟しました。気の合う仲間達と夏山に、そして冬山に、それから岩登りとまた、岳連の仲間達

とも山に行っていました。昭和六十一年の「かいじ国体」に合わせて、山岳指導者の資格を取得しました。国体では山岳縦走競技を担当しました。今までの自分自身に山行とは違つて競技としての山行はとても厳しいものでありました。一分でも一秒でも早く決められた時間内に決められた荷物を背負つて、山を駆け上がるのです。

岳連でも技術の向上や安全登山に向けて、実践的な研修会を開いて多くの仲間が技術を磨きました。

町村合併により平成二十年に、西八代支部と南巨摩支部が統合して峡南支部となりました。

これからもスポーツを通して地域との関わりを持ち理事の一人として自分自身を高揚させて行きます。

公認スポーツ指導者 表彰を受賞して

甲府支部 理事

萩原 要

(サッカー指導員、ジュニア
スポーツ指導員、アシスタ
ントマネージャー)



平成二十四年度公認ス
ポーツ指導者等表彰を頂
き、ご尽力頂いた皆様に心
より感謝を申し上げます。

私は、昭和二十四年に尊
敬する指導者の勧めにより
サッカー人生が始まり、県
サッカーリーグの発足、地
域サッカースポーツ少年
団、「リハール団体」サッ
カー競技の部に指導者とし
て関与でき、特に全日本少
年サッカー大会、全国社会
人サッカー大会に選抜チー
ムが優勝の榮譽に輝くこと

が出来ましたのも育てた各
指導者のたまものと感謝を
申し上げます。

平成十四年甲府市指導者
協議会によって総合型伊勢
スポーツクラブが設立さ
れ、私も指導者として初め
てスポーツをする子ども
と、多種多様なスポーツを
楽しみ、親子、地域の皆様
とのふれあいを通じて、人
間味豊かな子どもに成長し
て欲しいと思っております。

また、サッカーの指導者
として将来を担う「キッズ」
サッカーを大事に、サッ
カーに意欲を持っている、
何らかの可能性が感じられ
る子どもたちに良い環境
の中で多くのプレーを経験
し、より良い成績を促すよ
うに推進し、サッカーの発
展と選手のレベルアップを
図り、将来性のある選手の
育成にかかわり、スポーツ
振興に協力していきたいと
思います。

ス指協の知名度大いに高まる

第五回スポーツ少年団フイステイバルに協力



組織財政部 内田 建也

(剣道指導員・アシスタントマネージャー)

山梨県体育協会主催・山
梨県スポーツ少年団主管の
第五回スポーツ少年団フエ
ステイバルは、晴天にめぐ
まれたが、「寒の戻り」と
言われるくらい寒風の中、
平成二十四年四月七日(土)
午前八時三十分から山梨中
銀スタジアムで開会式が行
われた。

県下各地から集まった約
四十の団体・五二〇名のス
ポーツ少年団員により五〇
メートル走や腕立伏せ・軽
スポーツやピクチャヤーラ
リー等の交流活動が活発に
展開された。
山梨県スポーツ指導者協



議会(以下「ス指協」という)
も他三団体と共に協力団体
としてフェステイバル全体
の運営に協力した。もとも
とこの協力は「ス指協の知
名度が低いことから諸々の
行事に参加協力して知名度

を高めることが必要であ
る。」という考え方から始
まったもので、今回の協力
には参加当初とは違つて、
ス指協の会員があらゆるポ
ジションに配置され、積極
的に活動されたので大いに
初期の目的が達成されたも
のと思われる。

また、松野傅会長が、事
前の打合せ会にも出席、更
に開会式での紹介、また、
閉会式に講評を行うなど、
ス指協の知名度が、いやが
上にも高まった行事参加で
あった。



平成24年度山梨県スポーツ指導者協議会事業報告

年	月日(曜日)	事業名	会場等
平成24年	4月7日(土)	<協力事業> 山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬山梨中銀スタジアム
	4月20日(金)	第1回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	4月25日(水)	第1回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	5月11日(金)	平成23年度 会計監査	小瀬管理事務所会議室
	5月19日(土)	山梨県スポーツ指導者協議会総会 第1回山梨県スポーツ指導者研修会	小瀬武道館アリーナ
	6月15日(金)	第2回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	6月20日(水)	第2回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	11月16日(金)	第3回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	11月18日(日)	第2回山梨県スポーツ指導者研修会	韮崎市民交流センター「ニコリ」
	11月21日(水)	第3回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	12月2日(日)	第3回山梨県スポーツ指導者研修会	小瀬武道館第2武道場
	12月14日(金)	全国スポーツ指導者連絡会議	岸記念体育館
平成25年	12月15日(土)	公認スポーツ指導者等表彰式 全国研修会	TKPガーデンシティ品川
	1月29日(火)	峡北支部準備会	すたまふれあい館
	2月5日(火)	広報普及専門部会	小瀬体育館会議室
	2月15日(金)	第4回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	2月20日(水)	第4回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	3月15日(金)	第2回峡北支部準備会	すたまふれあい館
	3月下旬	会報第23号発刊	

平成25年度山梨県スポーツ指導者協議会事業計画

年	月日(曜日)	事業名	会場等
平成25年	4月6日(土)	<協力事業> 山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬中銀スタジアム他
	4月26日(金)	平成24年度 会計監査	小瀬管理事務所会議室
	5月17日(金)	第1回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	5月22日(水)	第1回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	6月15日(土)	山梨県スポーツ指導者協議会総会 及び第1回研修会	小瀬武道館アリーナ
	7月12日(金)	第2回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	7月17日(水)	第2回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	11月15日(金)	第3回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	11月17日(日)	第2回研修会	笛吹支部主管
	11月20日(水)	第3回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	11月～1月上旬	第3回研修会	南都留支部主管
	12月14日(土)頃	全国スポーツ指導者連絡会議	東京都
12月15日(日)頃	公認スポーツ指導者等表彰式 全国研修会	東京都	
平成26年	未定	会員特別講習会	未定
	2月14日(金)	第4回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	2月19日(水)	第4回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	3月下旬	会報第24号発刊	

あ
と
が
ま

今年度、専門部会の業務分掌の見直しを行い、峡北支部準備会開催、リーフレット作成、会員特別講習の計画など活発に活動を始めています。これらの活動も含め、また皆さんにお伝えしたいと考えています。

編集：広報普及部

発行元

山梨県スポーツ指導者協議会
事務局

〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町 840
公益財団法人山梨県体育協会内
TEL 055-243-8588 / FAX 055-243-8599